



全日本写真連盟

2018.11.1<第30号>

兵庫県本部

〒650-0035 神戸市中央区浪花町60 朝日新聞神戸総局内 TEL078-331-4144

<http://www14.plala.or.jp/AJAPS/>

後半も兵庫県本部の行事によろしくご協力をお願いします



<2018年度後半県本部行事予定(2018年11月~2019年3月)>

行事名	実施日・締切	内容
撮影会 (コンテスト募集)	パートⅢ撮影会 2019年3月17日(日)	半田の山車祭りを写す会(愛知県半田市) 募集人員120名 参加費7,500円
	阪神地区撮影会 11月4日(日)	関の宿場祭りを写す会(三重県亀山市) 募集人員40名 参加費6,500円
	姫路地区撮影会 2019年1月20日(日)	智頭の町並みと清富海岸を写す会(鳥取県智頭町、岩美町) 募集人員40名 参加費6,500円
コンテスト 課題「水のある風景」	2019年1月31日締切	応募資格:全日写連会員 応募料:1000円(郵便小為替) 応募先:朝日新聞神戸総局
展覧会 県本部入賞作品展 県本部委員作品展	2019年2月19日(火)~ 24日(日)10:00~17:00 (初13:00~)(終~15:00)	県本部各種コンテスト入賞作品 約274点展示 兵庫県本部委員の作品 A3~全紙 約26点展示 会場:兵庫県民アートギャラリー

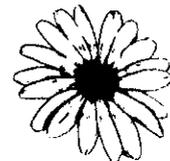
※各行事についての詳細は、各支部長を通じてお知らせします。また、朝日新聞兵庫県版にも掲載されます。

<作品展の紹介>

- ☆ かけはし展 11月29日(木)~12月4日(火) 11:00~18:00 神戸デュオギャラリー
- ☆ 松下敏和写真展「浜松まつり」 1月29日(火)~2月3日(日) 10:00~17:00 イーグレひめじ

<次年度の初心者写真教室について>

次年度の教室は、これまでより開催時期を早めて3月より開催したいと考えています。それぞれの支部におかれましては、自分たちの支部の仲間を増やすために、お知り合いの方などに働きかけていただきたいと思います。紹介していただいた方は、原則としてその支部に入会していただきますので、よろしくお願いいたします。



<撮影会の参加申込みについて>

申込先

- 阪神地区 〒661-0012 尼崎市南塚口町1-14-17 中村峰雄 宛 電話& FAX 06-6421-0019
- 神戸地区 〒672-0853 明石市朝霧山手町10-17 坂本正子 宛 電話 078-983-7530
FAX 078-969-6690
- 姫路地区 〒672-8031 姫路市飾磨区妻鹿1345-1 松下敏和 宛 電話& FAX 079-245-2784

参加費振込先

振替口座番号 00940-3-159426 名義 全日本写真連盟兵庫県本部

備考欄に ①撮影会名 ②支部名 ③参加人数 を記載

<撮影地の紹介>

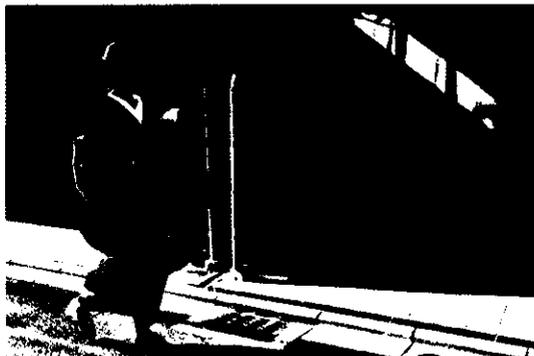
以前、県本部ニュースの22号で撮影地の紹介をいくつかしていますが、今回から、それぞれの委員が好きでよく出かける撮影地を、内容やねらいなどと写真（モノクロ）で紹介していきたいと思います。どうぞ撮影の参考にしてください。

・「舞子さんの始業式」（京都市）<中村>

開催日：1月7日（1月5日に挨拶回りも）

行き方：阪急河原町下車 徒歩10分、宮川町

内容やねらい：年頭にあたり、一年の芸事の精進を誓う芸妓さん、舞妓さんの始業式です。稲穂のかんざしと黒紋付で挨拶回りをします。午前中の光線状態の良い時が狙い目です。



・鍋冠祭（なべかぶりまつり）（米原市）<田中>

開催日：5月3日 正午ごろから午後4時ごろ

場所：滋賀県米原市朝妻筑摩 筑摩神社

行き方：JRで琵琶湖線米原駅下車、車で5分、徒歩40分。車で名神米原ICから10分

内容やねらい：「日本三奇祭」のひとつ。狩衣（かりぎぬ）姿に黒い張り子の鍋を冠った8歳前後の少女8人と猿田彦、子供の奴、太鼓、子供の巫女、着飾った親が付き添い、総勢200人ぐらいの行列です。御旅所から神社まで練り歩きます。（およそ1キロメートル）見どころは琵琶湖岸を歩く子どもたちです。



・近郊の地で撮る<牧野>

撮影地を紹介する前に、古い話ですが、元ニッコールクラブ会長の三木淳氏と撮影会で二人きりになった折に聞いた話を思い出します。「今日は暇だからどこでもよいからカメラを持って出かけようではダメ…」の言葉でした。そういうことからいささか独断ですが、撮影地を選ぶとしたら、まず次の近郊を選びます。

明石：二見、江井ヶ島の漁港 漁師と親しくなって撮る。

神戸：須磨の海岸 休日に行けば面白い被写体に出くわすかもしれない。

長田界限 六間道から南側

神戸駅から 中央市場付近の運河から和田岬方面

三宮・元町 神戸港の客船の入出港 改修前のモトコー地下街

大阪：少し古いですが、森まゆみ著「太田順一写真の大阪不案内」（筑摩書房）を参考にしています。大阪の下町で、すぐ土地の人と親しく話しやすい。良く行く



のは、空堀界限、福島、中崎町、中津、昭和町（4/29昭和の日）、北加賀屋のアートの町も工場や民家の壁に絵が描かれて、カメラマンを見かけます。

・瀬との港町 室津（たつの市御津町室津）〈田中町〉

交通:山陽電鉄「網干駅」下車、神姫バス大浦行き「室津」下車（便数少ない）マイカー利用をお奨めします。

歴史の町室津は塩と魚の匂いが漂う漁港でもあります。以下に撮影ポイントを紹介します。

ここで紹介しました行事の詳細は、

海駅館（Tel079-324-0595）または

民俗館（Tel079-324-0650）にお尋ねいただく

か、インターネットでお調べください。



①12月31日の午前7時ごろから昼頃まで、漁師さんが大漁旗や国旗で自分の船を飾る作業をします。ちょっと声をかければ漁師さんはいくらでも撮影させてくれます。

②1月1日から3日までは大漁旗と国旗で飾ったたくさんの漁船と町並みを友君橋の途中のカーブから撮影できます。風のある日の午前中が光がきれいで正月の清々しい風景が撮れます。



③4月の初めの日曜日に小五月祭があります。色とりどりの着物姿で豆絞りの手ぬぐいを頭に乘せた幼稚園児や小学低学年の女の子は絶好の被写体です。午前10時までには賀茂神社へ行ってください。

④7月の終わりの日曜日に夏越祭りがあります。丸太を縄で組み立てた台に人と太鼓を載せた3台が町を練り歩き、最後は賀茂神社で砂煙をあげながら練り回ります。汗がしたたり落ちる顔、頭から水を駆けられる人、赤い鉢巻のおっちゃん。夏の暑さが表現できます。ただし熱中症にならないように気をつけてください。

⑤8月の八朔には家々にお雛さんが飾られ、誰でも家の中に入って撮影できます。夏姿の子どもやお年寄りを配すれば、珍しい写真が撮れます。和食の店「まるよし」の雛段はスケールが大きく圧巻です。特に夜に格子窓越しに見える雛段は幻想的で格調高い被写体です。

⑥早朝の出漁風景は友君橋の最高位置から撮影がベストです。漁の日は火曜日、土曜日以外の日です。午前4時30分から小さなライトをつけた漁船が次々と港を出ていきます。入江の出口のカーブところを狙いたい。5～6分の露光で光跡がきれいに写ります。撮影に適した季節は夜明けが遅い冬です。カメラの電池の寒さ対策は重要です。

⑦迷路のような路地に生活感が溢れています。人一人しか通れない路地があちこちにあります。路地で土地の人とばったり出会ったら、「こんにちは」と声をかけましょう。三脚にカメラをセットして歩く方が怪しまれがたいと思います。

⑧太陽が西に傾き、港の街灯が灯る頃、漁を終えた漁船が次々と帰港します。家族が出迎え、船から魚を下ろします。許可を得て撮影すれば、裸電球の下で作業する漁師さんたちの家族の絆が表現できるのではないのでしょうか。

・麻揚げ合戦（浜松まつり）＜松下＞

開催日：5月3日、4日、5日

開催地：浜松市中田島砂丘

内容やねらい：子供の成長を願って揚げる初凧や、町の威信をかけて戦う白熱の糸切り合戦など、参加173町の大凧が浜風に乗れ、高く舞う勇壮な祭りです。3日間炸裂する浜松っ子の熱い魂を激写したい。



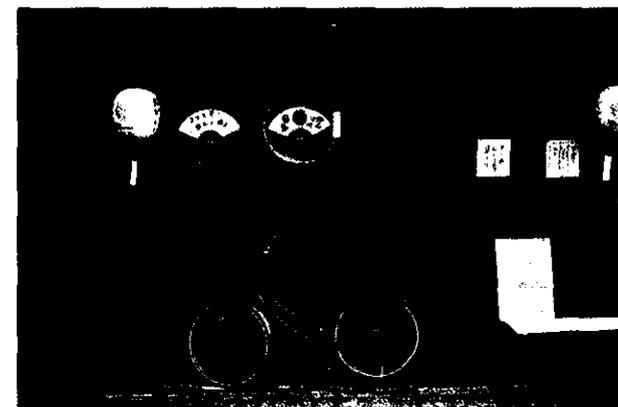
・郡上踊りの町（岐阜県郡上八幡市）＜本多＞

いがわこみち、吉田川親水遊歩道、やなか水こみち、古い町並みなど、水をテーマに撮る。夜は8時から9時30分ごろまで郡上踊りを撮る。

①町の中を吉田川が流れていて、夏休みの子どもたちが川へ飛び込んで遊ぶ。中学生ぐらいになると、5メートルぐらいの高さの橋の上から飛び込む。下から見上げて青い空と入道雲を入れて撮りたい。また、橋の上からスローシャッターで動きのある写真も撮る。

②いたるところに用水路があり、今でも野菜を冷やしたりしている。生活感のある風景を撮る。

③夜は踊りをストロボを補助光にして、スローシンクロで撮る。昼の間にどういう踊りが調べておく。



郡上踊り